

事業実績報告書

実施期間	令和 5 年 9 月 20 日～令和 5 年 12 月 27 日
実施内容	【概要】 準備 ・株式会社FUTUREFLIGHT代表釜澤剛璽氏の出演依頼 ・サツゲキのシアターレンタル依頼 ・合同会社東風へ映画「プリズン・サークル」自主上映会申込 ・SNSやチラシによる広告活動 当日 ・司会者:館田晶子(教員) ・アフタートーク登壇者 午前:学生3名、午後:学生4名 ・アフタートークゲスト:株式会社FUTUREFLIGHT代表釜澤剛璽氏 ・タイムキーパー(学生1名) ・総来場者数37名 【実施結果】 上映映画の概要 官民協働の刑務所「島根あさひ社会復帰促進センター」で、日本で唯一導入されている更生プログラム「TC(回復共同体)」に参加している受刑者にフォーカスを当て、犯した罪だけでなく、いじめや貧困など幼い頃の経験などにも向き合い更生していく姿に密着したドキュメンタリー映画。 アフタートークの概要 午前 映画の中でも取り上げられていた受刑者達の過去に注目し、そこから子供の人権や周りから孤立していつている子供達に対してどのようなことができるかについて話が広がっていった。 午後 出所者がいかに更生しやすい社会システムを構築できるかという話が展開されていった。 質疑応答 ・札幌の刑務所は資格取得が可能か ▶札幌刑務所(男子、収容人数約1000人)木工や溶接の資格取得が可能。札幌刑務支所(女子、収容人数約400人)クリーニングや清掃関係の資格取得が可能。 ・社会復帰の支援など札幌市ができる活動は何か ▶再犯防止計画はあるが、実際に受刑者と関わって向き合っている人は少ないのではないかと。協力雇用主としては昨年15人の出所者を雇った釜澤さんが北海道で最多。協力雇用主の登録は多いが実際に

出所者を雇用している人は僅か。この問題は全体で取り組まなければ難しいものであるから、まずは知ってもらう必要がある。その上でみんなができることを少しずつやる必要がある。

- ・新しい取り組みを始めるならどんなことをするか。

▶現在の刑務所の制度は、何十年近く変わっていない。昨年やっと刑法改正で拘禁刑が成立した。ただ仕事をするのが償いという形から、福祉や教育などを経て罪を償うものに変えていく必要がある子供の頃にできなかったことで、例えば勉強など教育等を取り入れたい。

- ・釜澤さんの関わった出所者の中でしっかり更生できたのはどのくらいの割合か。

▶1割程度。会社で雇っている人も携帯を持ち出して消えたりする。夜中に探し回ることもある。

参加者の意見

- ・(元保育士の方から)保育士になったきっかけが、人の生きづらさは幼少期からきているのではないかと考えたため。相談できる場所が必要なのではないか。幼少期の経験が未解決だから引っかかりがあるのではないかと思った。

- ・(プリズン・サークル2回目見た方から)幼少期の振り返りのシーンが辛く感じた。親じゃなくても相談できる環境が大切なのではないかと思った。

- ・映画ではTCによって更生していく過程がでていたが現実として実際に更生できる人はほぼ居ない。

*映画やトークの成果

- ・大学のゼミによる自主上映及びアフタートークを実施したという前例を作ることができた

- ・参加者に受刑者の社会復帰をより考えてもらうきっかけになった
- ・次の活動に繋いでいくことができるものになった

*ゲストの話と来場者の理解や関心

- ・来場者の理解と関心はアンケート(添付資料)から見ても今回の活動への理解は深く、関心はより高まったと考えられる。

*今後の課題

- ・TCで更生できる人は全体から見てもかなり少数で更生できない人がほとんどである。

- ・現在は刑務所へ入り作業をすることだけが償いの形となってしまっている。これからは、福祉や教育等で罪を償う形へ変えていく必要がある。

- ・協力雇用主という制度を知ってもらう必要がある。既に登録している会社だけでなく新しく登録する会社を増やし出所者の働き口を増やしていく必要がある。

- ・現在登録している協力雇用主に出所者の雇用の呼びかけを行政に

	もっと取り組んでいくべきである。 ・協力雇用主に登録している企業は少なくないが、取り組みに積極的じゃないため(実際には受け入れていない)、登録という形だけで止まっていることから、それが結果として再犯へと繋がる。これを防止するために、まずは札幌市という規模で出所者の受け入れ体制を強化する対策を学生などと一緒に考えて欲しい。 *反省点 ・アフタートークの時間が短かった。(アンケートでも指摘あり) ・ゲストへの質問をたくさん考えて、事前に共有しておくべきだった。 ・自分たちの間で共通の結論を出しておけば良かった。 ・もっと宣伝に力を入れられた。
備考	以下の別紙資料を添付 ・広報：チラシ、SNSの写真 ・アンケート集計結果

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。